

2023 年 9 月 30 日(土) 徳島大学大塚講堂 & Web (参加者 会場:34 名 Web34 名)

第 35 回 AWADM.com は、ハイブリッド開催で、4 年ぶりに会場でも開催いたしました。大塚講堂には 32 名が参加、Web は今回も県外から北海道、長野、群馬、茨城、千葉、岐阜、奈良、兵庫、香川、高知、鹿児島などから参加頂きました。短い時間ではありましたが、有意義な時間を過ごすことができました。

【医学部学生の発表】

4 年ぶりの会場での開催に併せて、徳島大学医学部医学科3年生の学生発表も久しぶりに行われました。「糖尿病と合併症 -HbA1c 値と合併症の関係-」というタイトルでの発表でした。合併症予防のためには、血糖管理が重要な事は知られていますが、HbA1c 値をどのぐらいに保てば合併症をどの程度予防できるのかということについて DCCT 研究という歴史のある研究の結果を基に紹介してもらいました。今回の発表が、改めて合併症について考えるきっかけになればと思います。



【ゲスト講演】

大阪公立大学発達小児医学の柚山賀彦先生から「先進時代の「推し」の治療は？～君らしく、誇らしく～」とのタイトルでご講演いただきました。柚山先生はご自身も 9 歳から 1 型糖尿病であり、ご自身が研究対象であると紹介されました。ご講演では SGLT2 阻害薬の 1 型糖尿病への治療、自ら使用しておられる 770G インスリンポンプによる SAP 療法などについてご紹介いただきました。とても印象的であったのは趣味がお二人のお子様と遊ぶこととされていて、大変お子様のことが大好きなことがよく伝わってきました。柚山先生が話された「1 型として生きてきた 20 数年ですが、なんとかなるで。結構。なんとかならんでも、意外と大丈夫。」が印象に残りました。そして「一人ひとりの人生に合わせた治療法があるべき。最新が最善ではない。」など多くのことを学ぶことができました。

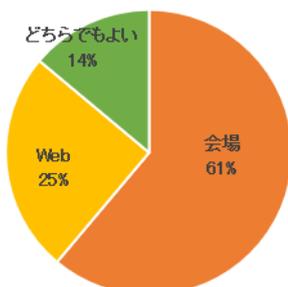


【グループディスカッション】

グループディスカッションは会場と Web に分けて行いました。それぞれ 5~6 人に割り振りされ、50 分にわたってのフリートークでした。

【アンケート(会場+Web=36 名から回答をいただきました)】

希望される参加形態



- ・柚山先生のメッセージ「一人ひとりの人生に合わせた治療であるべき」に共感しました。グループディスカッション楽しかったです。ありがとうございます。
- ・医学部の学生さんのご説明が丁寧で分かりやすかったです。柚山先生のご体験に基づくプレゼンテーションは説得力があり、大変魅力的でした。
- ・初めて現地で参加しましたが、今までより「患者会」というのを体験できました。講演会もすごく参考になりました。
- ・久しぶりのリアル開催すごく楽しかったです。

第 36 回 AWA DM.com は、2024 年 1 月 27 日(土) 予定
ゲスト講演: 鹿児島大学運動機能修復学講座 松田恵理子先生